



令和8年
5月

学校だより

NO.2 令和8年4月28日
さいたま市立美園北小学校
TEL 048(812)2277
<https://misonokita-e.saitama-city.ed.jp>

5月1日

校長 荒井 宏之

あたたかな日が続いた4月。始業式・入学式からの一カ月はあっという間に過ぎていきました。子どもたちは学校での新生活にも慣れてきたようで、元気に過ごす様子が見られます。保護者の皆様には、授業参観・懇談会や引き渡し訓練のために御来校いただきありがとうございました。また、登下校の見守りにも多くの方々にお力添えをいただきありがとうございました。

4月に行われた1年生を迎える会では、1年生が校内を練り歩き、2～6年生が盛大な拍手をして入学をお祝いする気持ちを伝えました。1年生は、先輩たちの活気に驚きながらも嬉しそうな表情を見せてくれました。また、登校時や朝の教室では、他学年の児童が1年生を気遣ったり、手助けしたりと微笑ましい光景を目にすることが多々ありました。

さて、明日からは大型連休が始まります。その中に位置づいているのが「さいたま市民の日」です。本校の子どもたちは、地域の多数の事業所等に御協力をいただいている町探検や職業体験などで地域全体を学習の場と



して美園地区の魅力については、たくさんを感じたり、見つけたりすることができているように思います。しかしながら、美園地区以外の魅力を見つけていくことはまだまだこれからという児童も多いと思います。学校がある緑区にも国指定史跡があるなど、開発が進む新しさや便利さという魅力だけでなく、多くの子どもたちがまだ知らない歴史的な魅力もあります。5月1日の「さいたま市民の日」は、子どもたちが区やさいたま市全体に興味や関心を広げていくきっかけになればと考えておりますので御家庭でも話題にいただければ幸いです。

年度当初の緊張感の中での1カ月が終わり、子どもたちも疲れが出てくる頃かと思います。連休中は、心と体のリフレッシュをして疲れを癒していただくとともに、体調管理と事故防止に努めていただきますようよろしくお願いいたします。

身近にある国指定史跡「見沼通船堀」

享保16年(1731年)に開通した、見沼代用水東縁及び西縁と芝川を結ぶ総延長約1,040メートルの閘門式運河です。見沼代用水と芝川の水位差が3メートルもあったため、途中それぞれ2箇所の閘を設け、水位を調整して船を通していました。

通船堀の開通により、見沼で取れた米などの農産物が江戸に運ばれ、江戸からは肥料や荒物が水上交通によりもたらされました。昭和初期にはその役割を終えましたが、近世の土木技術、流通経済を考える上で貴重なものです。なお、見沼通船の運営に関わった鈴木家の屋敷である鈴木家住宅や通船関係者の信仰を集めた水神社、木曾呂の富士塚(川口市)も指定地に含まれています。(さいたま市HPより)